

コード	204010117
記入日	H23.6.10

課コード	114
課名	水道課
課長名	吉本 佳文
担当者	濱口 友司

# 事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島町水道管路管理システム整備事業
----------	---------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	2
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	6
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	325
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島水道事業	(対象指標1) 給水人口 22,736人				
(対象2)	(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
****	水道管路管理システム一式	水道管路管理システム	一式	100%	実際の管理システム整備進捗率+計画した管理システム
		① (達成率分析)	水道管路管理システムの導入により、情報の更新や訂正が容易に行えるとともに漏水事故等に迅速に対応できる。		
		② (達成率分析)			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		水道管路管理システム	一式	100%	実際の管理システム整備進捗率+計画した管理システム
		① (達成率分析)	システム導入により、今後水道管路情報の入力や更新により、漏水事故等に迅速に対応できる。		
		② (達成率分析)			

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 22 ~ H 22		21年度以前	22年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① %	100	100		100	100
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	2,383	2,170		2,383	2,170
直接事業費 A	千円	1,683	1,470		1,683	1,470
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	2,383	2,170	2,383	2,170

**評価 (CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	水道事業管理者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	紙台帳の管路図を住宅地図を基本にした電子システムで管理し情報の更新・訂正を容易に行える。また、漏水事故等にも迅速に対応出来るため必要である。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	水道利用者とする事で適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	システムの導入により、漏水事故等に迅速に対応できるなど、安定した水の供給が図られる。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	システムソフトの導入を目的としたもので、最小の経費になるよう考慮した。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	情報の更新・訂正が迅速にできず、現地と台帳の情報が乖離が発生する恐れがある。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	平成18年度に料金改定を行った。また直接的な受益者を限定できない。

**改善 (ACTION)**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	
	特になし。	
2 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	
	特になし。	
2 次 評 価		安定した給水確保を図るため老朽化による漏水を防止し、計画的な維持・補修に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。